



【山陰インバウンドニュース4月号】

令和3年4月28日
(一社)山陰インバウンド機構

【令和3年度山陰インバウンド機構セミナー】「令和2年度山陰インバウンド機構 事業成果報告会」開催のお知らせ

山陰インバウンド機構では、新型コロナウイルスの影響を受けているインバウンドマーケットで、“with コロナ、after コロナ時代”におけるV字回復に寄与するため、Webセミナーを開催しています。この度、当機構が実施した令和2年度の事業報告会を下記のとおり開催いたします。観光事業者の皆様、DMO、行政関係者をはじめ、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

	日付	時間	内容(案)
第1回	令和3年5月19日(水)	13時30分	コロナ禍におけるオール山陰の戦略策定、及び山陰の魅力発信への取組について
第2回	令和3年6月3日(木)		デジタルパスの取組について
第3回	令和3年6月16日(水)	14時30分	観光による地域振興に向けた取組について
第4回	令和3年6月30日(水)		山陰の魅力を活かした旅行商品造成や地域産品の販売支援の取組について

(※) 内容については、今後、変更される可能性があります。

(※) いずれのセミナーも参加費は無料です。

【セミナーへの参加方法】

当セミナーは、Webサービス「ZOOM」のウェビナー機能を利用して開催します。下記の加登録用URLをクリックし、参加者の「氏名」、「会社名」、「役職」、「Eメールアドレス」をご登録ください。

(後日、登録されたメールアドレスにウェビナー参加に関する確認メールが送信されます。報告会の開会時間になりましたら、確認メールの「ここをクリックして参加」で参加いただけます。)

第1回(5/19)	https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_-0zuxwymQC6kQEX4jCOWrQ
第2回(6/3)	https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_G-nc5WYRTF-OUVi7nMcyQY
第3回(6/16)	https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_Tk_jDWOSSJ2hGYN-OKdEww
第4回(6/30)	https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_aWR4VJfyRQmVTACNixEW-g

うんなん観光ネットワーク協議会で「Discover Another Japan」構想を紹介

4月27日、令和3年度うんなん観光ネットワーク協議会総会終了後にお時間をいただき、当機構が考える「Discover Another Japan」構想を説明しました。今後のインバウンド復活を見据えて、オール山陰でインバウンドマーケットを創出していくための新たな仕組みである

「Discover Another Japan Pass」、および観光を地域振興に活かしていくための考え方や具体的取り組み方法を記載した「観光商品開発マニュアル」(※)についてご紹介しました。当日は、副市長・副町長をはじめ、県、観光協会、商工会の方々など約30名のみなさまにお話しをさせていただき、今後必要に応じて研修会の実施などの提案も行いました。今後は各市町村の首長訪問を予定しており、本構想への理解と地域が主体的に観光を活かした地域振興の取組を支援していきます。



観光商品開発マニュアル～観光カルチャーで地域は豊かになる～

- ◇発行日：令和3年3月31日
- ◇配布先：市町村、観光協会、DMO、観光関連事業者ほか
- ◇発行：一般社団法人山陰インバウンド機構
- ◇後援：公益社団法人日本観光振興協会
- ◇内容
 - (第一部) 観光で地域を豊かにする
 - (第二部) 観光で地域を売り込む
 - (事例紹介) 観光で地域を豊かにするための活動紹介



令和3年度事業概要

令和3年度「訪日外国人旅行者周遊促進事業」補助制度を活用し、当機構が実施を予定している事業概要についてお知らせいたします。

この制度は、観光庁が、日本版DMO法人を対象に、訪日外国人旅行者等の来訪や滞在を促進することにより、地域の活性化を図ることを目的に実施されている助成制度です。

当機構でもこの制度を積極的に活用し、after コロナ、with コロナを見据えた観光戦略の取組を一層進めていく予定です。

1. コロナ回復期を見据えた観光戦略見直しのための調査・戦略策定事業

米子鬼太郎空港及び関西・広島・岡山空港への韓国・香港・上海・台湾などからの定期直行便の再開を見据えた東アジアからの誘客戦略を再構築するため、コロナ感染症拡大前後の旅行需要の変化を明らかにする調査事業を実施します。

2. 中国エリアと連動したF I T市場の開発と誘客事業

F I Tを山陰に取り込む為に、当機構が開発した「Discover Another Japan Pass」及び「Visit San' in Tourist Pass」に掲載する滞在型コンテンツの拡充及び受入環境の整備を図ります。

3. グローバルウェブサイトによるインバウンド向け重点エリアのマーケティング・情報発信強化事業

外国人向けの体験コンテンツのブラッシュアップと開発を行い、選りすぐりの体験コンテンツを当機構のグローバルウェブサイト「ショーケース」として収納するとともに、体験コンテンツの案内するガイド養成等、現地受入体制の強化を実施します。

4. 旅館・ホテルと連携した新たな国内外販売ネットワークの構築事業

山陰エリアの宿泊施設を拠点とした「滞在型観光コンテンツ」のラインナップ拡充、及び、当事業で開発した「滞在型観光コンテンツ」の販売支援等を行います。

5. コロナ回復期を見据えた滞在型コンテンツの開発・見直し（欧米豪）事業

欧米豪の在日外国人や在住外国人ジャーナリスト等へのヒアリング調査等、欧米人等目線によるafter コロナ、with コロナにおけるコンテンツの魅力度向上・今後の可能性を検証し、滞在コンテンツの企画・開発等を行います。

6. プラットフォーム型スクールによるスタートアップ支援事業

インバウンドを受け入れる地域環境整備を支援するため、インバウンド人材育成のためのプラットフォームの構築を進めます。

7. 観光商品開発マニュアルを活用した地域プラットフォーム事業

当機構が企画・作成した観光商品開発マニュアルを活用し、山陰ならではの観光資源等の特色を活かした「ポストコロナ」に向けた「新たな観光サービス」の創出を進めます。

令和3年度山陰インバウンド機構キックオフセミナー「観光地経営の視点と実践 ～山陰 DMO が描く未来とは～」の動画を公開しました。

4月21日、当機構の田川博己会長（株式会社JTB 取締役相談役）を講師として、WEBセミナーを開催しました。当日は、田川会長より、「ニューノーマル時代におけるツーリズム産業の役割」と題し、コロナ後の旅行ニーズの変化や山陰観光のあり方等についてご講演いただきました。当日は、約240名の方が視聴する等、観光産業に携わる多くの方がコロナ後の旅行にあり方について関心を寄せていることが伺えました。講演の内容はYouTubeで公開しておりますので、是非、ご視聴ください。

【YouTube URL】<https://www.youtube.com/watch?v=thg1DmUji9A&t=34s>

観光関連統計等

山陰への訪日外国人宿泊者数※観光庁宿泊旅行統計調査（従業員10人未満の施設を含む）

期間	山陰への訪日外国人宿泊者数（鳥取/島根）	比較
2021年1月	1,450人泊（鳥取800人/島根650人）	前年同月比91.3%減
2020年1月	16,620人泊（鳥取12,160人/島根4,460人）	
日本全体の現状 2021年1月 （速報値）	457,580人泊 ※観光庁宿泊旅行統計調査 https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutouk-ei.html	前年同月比95.3%減